



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 眞弘 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,216	29.1	1,381	74.8	1,346	80.1	711	82.3
25年3月期第2四半期	13,334	△4.7	790	△1.4	747	△6.3	390	5.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,377百万円 (419.3%) 25年3月期第2四半期 265百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.67	—
25年3月期第2四半期	11.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	23,725	10,338	36.8	265.70
25年3月期	27,315	9,108	27.6	229.98

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,724百万円 25年3月期 7,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	28.6	770	—	760	—	260	82.7	7.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	32,980,000株	25年3月期	32,980,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	143,389株	25年3月期	140,228株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	32,838,079株	25年3月期2Q	32,841,357株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

指標等	25年3月期 第2四半期累計	26年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	13,334	17,216	3,881	29.1
営業利益	790	1,381	590	74.8
経常利益	747	1,346	598	80.1
四半期純利益	390	711	321	82.3
1株当たり四半期純利益	11円 89銭	21円 67銭		

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和により企業業績や消費動向に改善の兆しが見られるなど徐々に景気回復に向けた動きが見られるようになったものの、欧米諸国における財政問題や新興国での経済成長鈍化など海外経済が依然として不安定であること、また円安に伴う材料価格の高騰などの懸念材料があり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤・家庭用品・園芸用品の成長カテゴリー市場を牽引する新価値創造商品を積極的に投入し、既存事業の強化を図るとともに、販売効率の向上・在庫削減・コストダウン等への取り組みによる収益力強化、及び海外事業の拡大強化等の課題に努めてまいりました。

国内売上につきましては、主力の殺虫剤を筆頭に、家庭用品、園芸用品についても前年を上回ったことにより、国内合計では前年同期比5.4%増の114億37百万円となりました。一方、海外売上については、既存の海外子会社の売上が好調に推移したことと、2012年11月に子会社化したフマキラーアジアグループの業績を取り込んだことにより、円貨ベースでは前年同期比132.6%増の57億79百万円(為替変動の影響を除くと110.6%増)となりました。その結果、売上高は前年同期比29.1%増の172億16百万円(為替変動の影響を除くと25.0%増)となりました。

売上原価は、前年同期より25億29百万円増加し113億75百万円となりました。売上原価率は66.0%で、前年同期より0.3ポイント減となりました。

これらの結果、売上総利益は58億40百万円(前年同期比30.1%増)となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は56億12百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては経費の効率的な運用及び見直しを行いました。連結子会社が増えたことにより、前年同期比22.9%増の42億31百万円となりました。これらの結果、営業利益は13億81百万円(前年同期比74.8%増)、経常利益は13億46百万円(前年同期比80.1%増)、四半期純利益は7億11百万円(前年同期比82.3%増)となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費(広告宣伝費のような政策費を除く)は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	25年3月期 第2四半期累計	26年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	10,518	13,862	3,344	31.8
家庭用品	96	366	269	278.2
園芸用品	1,144	1,255	110	9.7
防疫剤	801	827	26	3.3
その他	773	904	131	17.0
合計	13,334	17,216	3,881	29.1

殺虫剤部門につきましては、国内で需要が拡大している成長カテゴリー市場に、ワンブッシュ式の次世代蚊取り「おすだけベープ クリスタ」、不快害虫用虫よけ「虫よけバリア 玄関用」、「虫よけバリア クルマ用」や殺虫成分ゼロでゴキブリを凍らせて止める「ゴキブリ凍止ジェット」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与し、殺虫剤全体の売上は堅調に推移しました。一方、海外におきましては、P.T.FUMAKILLA INDONESIAや他の既存海外子会社の売上が好調に推移し、また昨年11月に子会社化したFumakilla Asia Sdn. Bhd. 及びPT Technopia Jakartaの売上を取り込んだ結果、国内及び海外の殺虫剤合計の連結売上高は前年同期比31.8%増の138億62百万円（前年同期比33億44百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、主力のアルコール除菌剤が好調に推移したことと、花粉関連商品の返品削減に努めた結果、家庭用品合計の売上高は278.2%増の3億66百万円（前年同期比2億69百万円増）となりました。

園芸用品部門につきましては、殺虫殺菌剤や除草剤に新製品を投入した結果、売上が好調に推移し、園芸用品合計の売上高は前年同期比9.7%増の12億55百万円（前年同期比1億10百万円増）となりました。

防疫剤部門は8億27百万円（前年同期比26百万円増、3.3%増）、その他の部門は9億4百万円（前年同期比1億31百万円増、17.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて35億89百万円減少し、237億25百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が14億71百万円、短期繰延税金資産が3億16百万円、有形固定資産が1億63百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が46億48百万円、棚卸資産が12億19百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて48億19百万円減少し、133億87百万円となりました。主な要因は電子記録債務が11億83百万円、未払法人税等が6億95百万円、売上割戻引当金が6億12百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が8億34百万円、短期借入金が63億50百万円が減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて12億30百万円増加し103億38百万円となりました。なお自己資本比率は9.2ポイント増加し36.8%となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によって獲得した資金は83億63百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が13億49百万円、その他の引当金の増加が7億73百万円、売上債権の減少が48億26百万円、たな卸資産の減少が13億38百万円あったことなどによるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動に使用した資金は2億16百万円となりました。これは定期預金の預入による支出が46百万円、有形固定資産の取得による支出が1億63百万円があったことなどによるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動に使用した資金は67億87百万円となりました。これは短期借入による収入が32億46百万円あった一方で、短期借入金の返済による支出が96億88百万円あったことなどによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末における短期借入金残高は、前期末に比べ63億50百万円減少して14億16百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億24百万円増加し、34億92百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては平成25年5月10日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,521,798	3,992,923
受取手形及び売掛金	8,063,093	3,414,202
電子記録債権	1,003	95,784
商品及び製品	3,499,447	2,896,496
仕掛品	633,002	347,585
原材料及び貯蔵品	1,451,057	1,119,528
その他	872,020	1,336,481
貸倒引当金	△1,419	△1,717
流動資産合計	17,040,002	13,201,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,095,408	2,321,997
機械装置及び運搬具(純額)	1,148,573	1,112,593
工具、器具及び備品(純額)	199,581	179,995
土地	704,865	653,544
リース資産(純額)	31,365	65,751
建設仮勘定	54,774	64,562
有形固定資産合計	4,234,568	4,398,442
無形固定資産		
のれん	1,203,612	1,265,308
商標権	1,189,543	1,270,831
その他	615,277	552,018
無形固定資産合計	3,008,432	3,088,158
投資その他の資産		
投資有価証券	2,807,006	2,885,270
その他	363,108	320,769
貸倒引当金	△138,557	△168,022
投資その他の資産合計	3,031,557	3,038,017
固定資産合計	10,274,558	10,524,618
繰延資産		
株式交付費	674	—
繰延資産合計	674	—
資産合計	27,315,235	23,725,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,703,078	1,868,848
電子記録債務	923,409	2,107,344
短期借入金	7,766,716	1,416,636
1年内返済予定の長期借入金	250,000	250,000
リース債務	7,515	17,409
未払法人税等	61,872	757,227
賞与引当金	236,678	219,873
売上割戻引当金	58,166	670,390
返品調整引当金	459,881	656,392
その他	1,883,891	1,567,582
流動負債合計	14,351,210	9,531,705
固定負債		
長期借入金	2,250,971	2,125,000
リース債務	23,850	36,840
退職給付引当金	398,972	427,576
役員退職慰労引当金	455,219	423,935
資産除去債務	8,658	8,740
その他	717,538	833,272
固定負債合計	3,855,210	3,855,365
負債合計	18,206,420	13,387,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	2,105,770	2,105,771
利益剰余金	1,511,956	2,062,440
自己株式	△41,464	△42,398
株主資本合計	7,274,941	7,824,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352,526	405,097
為替換算調整勘定	△75,026	495,021
その他の包括利益累計額合計	277,500	900,118
少数株主持分	1,556,372	1,614,220
純資産合計	9,108,814	10,338,832
負債純資産合計	27,315,235	23,725,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,334,654	17,216,511
売上原価	8,846,333	11,375,999
売上総利益	4,488,321	5,840,511
返品調整引当金戻入額	328,526	392,104
返品調整引当金繰入額	583,949	619,818
差引売上総利益	4,232,898	5,612,798
販売費及び一般管理費	3,442,795	4,231,756
営業利益	790,102	1,381,041
営業外収益		
受取利息	4,778	5,287
受取配当金	30,876	32,166
その他	41,582	58,081
営業外収益合計	77,236	95,535
営業外費用		
支払利息	17,916	55,324
売上割引	54,106	64,994
その他	47,542	9,773
営業外費用合計	119,564	130,092
経常利益	747,774	1,346,485
特別利益		
固定資産売却益	1,514	3,545
負ののれん発生益	1,958	—
特別利益合計	3,473	3,545
特別損失		
固定資産除売却損	125	64
投資有価証券評価損	20,439	—
特別損失合計	20,565	64
税金等調整前四半期純利益	730,682	1,349,965
法人税、住民税及び事業税	371,397	827,045
法人税等調整額	△82,217	△197,419
法人税等合計	289,180	629,626
少数株主損益調整前四半期純利益	441,502	720,339
少数株主利益	51,115	8,680
四半期純利益	390,386	711,658

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	441,502	720,339
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△145,806	52,571
為替換算調整勘定	△30,397	604,745
その他の包括利益合計	△176,203	657,316
四半期包括利益	265,298	1,377,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,229	1,334,277
少数株主に係る四半期包括利益	47,068	43,378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	730,682	1,349,965
減価償却費	246,178	359,744
のれん償却額	728	50,716
負ののれん償却額	△1,958	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	54,713	26,479
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16,695	18,200
その他の引当金の増減額 (△は減少)	308,491	773,672
受取利息及び受取配当金	△35,654	△37,453
支払利息	17,916	55,324
為替差損益 (△は益)	2,422	△7,298
投資有価証券評価損益 (△は益)	20,439	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,389	△3,480
売上債権の増減額 (△は増加)	4,820,993	4,826,815
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,259,335	1,338,590
仕入債務の増減額 (△は減少)	△878,924	233,845
その他	△129,086	△469,901
小計	6,431,583	8,515,220
利息及び配当金の受取額	36,368	37,591
利息の支払額	△15,516	△52,286
法人税等の支払額	△103,742	△136,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,348,692	8,363,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,250,000	—
定期預金の預入による支出	△41,400	△46,120
有価証券の取得による支出	—	△1,094
有形固定資産の取得による支出	△475,308	△163,835
有形固定資産の売却による収入	3,527	5,078
投資有価証券の取得による支出	△1,076	—
貸付金の回収による収入	197	221
その他	75,867	△11,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	811,807	△216,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,420,000	3,246,648
短期借入金の返済による支出	△8,370,000	△9,688,165
長期借入金の返済による支出	—	△125,000
リース債務の返済による支出	△2,494	△10,339
自己株式の取得による支出	△513	△957
配当金の支払額	△131,368	△164,198
少数株主への配当金の支払額	△22,249	△45,562
その他	—	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,106,624	△6,787,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,189	65,464
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,050,685	1,424,552
現金及び現金同等物の期首残高	762,122	2,068,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812,808	3,492,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本準備金の額の減少及びその他資本剰余金の額の増加)

当社は、平成25年6月27日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成25年8月2日をもって資本準備金の額の減少を行いました。

会社法第448条第1項の規定に基づき、下記の通り、資本準備金の額を減少させ、その他資本剰余金に振替えております。

資本準備金の減少額	1,500,000,000円
その他資本剰余金の増加額	1,500,000,000円

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他(注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	東南アジア (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客に対する売上高	11,157,356	1,990,482	13,147,838	186,816	13,334,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	343,761	297,712	641,474	—	641,474
計	11,501,117	2,288,195	13,789,312	186,816	13,976,129
セグメント利益	482,766	238,582	721,348	7,735	729,084

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	721,348
「その他」の区分の利益	7,735
セグメント間取引消去	61,746
その他の調整額	△728
四半期連結損益計算書の営業利益	790,102

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他（注） （千円）	合計 （千円）
	日本 （千円）	東南アジア （千円）	計 （千円）		
売上高					
外部顧客に対する売上高	11,765,302	5,202,775	16,968,077	248,434	17,216,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	502,161	362,598	864,759	—	864,759
計	12,267,464	5,565,373	17,832,837	248,434	18,081,271
セグメント利益	1,233,175	60,619	1,293,794	20,737	1,314,532

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内訳（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 （千円）
報告セグメント計	1,293,794
「その他」の区分の利益	20,737
セグメント間取引消去	67,362
その他の調整額	△852
四半期連結損益計算書の営業利益	1,381,041

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更について)

当社は前第3四半期連結累計期間より東南アジアで事業を展開するFumakilla Asia Sdn. Bhd. (旧 Technopia Sdn. Bhd.) 及びPT Technopia Jakartaが連結子会社となったことから、従来までの「日本」、「インドネシア」から「日本」、「東南アジア」に報告セグメントの名称を変更しております。これにより、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

(4) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報
 (1) 販売実績

(千円)

事業区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	10,518,192	78.9
家庭用品	96,790	0.7
園芸用品	1,144,890	8.6
防疫剤	801,313	6.0
その他	773,468	5.8
合計	13,334,654	100.0

事業区分	当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	13,862,372	80.5
家庭用品	366,082	2.1
園芸用品	1,255,884	7.3
防疫剤	827,500	4.8
その他	904,670	5.3
合計	17,216,511	100.0

事業区分	前連結会計年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	16,098,771	71.4
家庭用品	1,674,874	7.4
園芸用品	1,772,224	7.9
防疫剤	1,435,905	6.3
その他	1,574,633	7.0
合計	22,556,409	100.0

(注) 金額は純売上高(消費税等抜き)によっております。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	2,115,401	369,163	2,484,564
II 連結売上高（千円）	—	—	13,334,654
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.9	2.7	18.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	5,314,516	464,886	5,779,402
II 連結売上高（千円）	—	—	17,216,511
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	30.9	2.7	33.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。